

#### 4 意見の概要

##### テーマ1：新しい日常が定着する中における「高質な田舎・秋田」への誘いについて

- ・ 秋田県として、独自性をアピールすべき。
  - ・ 住むなら秋田と実感しているが、ネット環境の充実は不可欠。
  - ・ 安く入手できる空き家リストは必須であるが、土地が只でいいから来て位じゃないとダメ。
  - ・ 仕事や修行の場がない若手芸能人やグループを全国から公募し、県や市町村の支援のもと、県内を拠点に活動してもらおう。新型コロナ終息後には、招聘した芸人等が中央に帰った際、秋田をPRしてくれるかも。
  - ・ 新規就農を希望する移住者に対し、後継者のいない遊休農地を公的機関が買い取り、移住者に斡旋してはどうか。
  - ・ 認定農業者<sup>※1</sup>の子どもや孫を対象とした奨学金制度を創設することにより、農業後継者の増加や農地の維持発展につなげてはどうか。
- ※1 認定農業者： 農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人のこと。
- ・ 移住政策を進めるためには、移住者を「よそ者」扱いしない県民の包容力や寛容さが大事ではないか。
  - ・ 産業は風景を作る。「高質な田舎・秋田」は、一次産業を盛んにし、田舎風景を作ることが秋田の本来の姿である。
  - ・ 外出自粛や出勤、移動の密を避けるため、リモート活動が急成長している今、リモートを応援する施策を行い、高質な田舎での子育てをアピールするのはどうか。
  - ・ 秋田県には、生活の全てを自給自足でやっていける潜在能力があり、この実現が秋田の魅力発信になる。
  - ・ 高質な田舎には、高質な自然が必要。

##### テーマ2：新型コロナウイルス渦中における県内観光とインバウンドへの取組について

- ・ 旅行プランを市町村単位で企画し、運営する大人の遠足、大人の修学旅行には、参加したいと思う人が増えるのではないか
- ・ 観光資源として、県議会だより第172号の表紙となっているような、海の夕陽の風景を残すことが対策と考える。

### テーマ3：新型コロナウイルス対策としての学校施設の設備について

- ・ 学校側で、ゲームに依存しない指導をした上で、ICTを活用した授業方法を段階的に準備してはどうか。
- ・ 感染第2波に備えたエアコンの設置が必要。
- ・ 金足農業高校や秋田市内の教育関係施設の建て替え、改築をお願いする。
- ・ 今しか利用できない補助金を活用し、学校等のエアコン整備を。

### テーマ4：新型コロナウイルスの感染拡大を抑えながら、経済・社会活動を継続するために必要なことについて

- ・ 「ハチ公号<sup>※2</sup>」の運賃を多少値上げし、値上げ分を県内経済に寄付する。
- ・ 悪いケースに備えるカードを常に手札に入れておくこと。
- ・ 新型コロナに関して周知等を行う際はカタカナ言葉を多用せず、やむを得ず使う場合でも日本語訳をつけてほしい。
- ・ 鉄道、道路、河川等のインフラの整備をお願いする。
- ・ 感染拡大を抑えたいなら、外国人の入国禁止、食料の自給自足が必要。

※2 ハチ公号： 秋北バス株式会社が運行する大館市内循環バス